

## 第6回 FC-Cubic 技術交流会を開催

12月6日(木)に第6回 FC-Cubic 技術交流会を、集中拠点の近くにある東京国際交流館 プラザ平成 3 階 国際交流会議場にて開催しました。

技術交流会は、専務理事の大仲からの主催者挨拶で始まり、新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO) 次世代電池・水素部 燃料電池・水素グループ 主任研究員の原大周様よりご来賓のご挨拶をいただきました。

第一部は「特別講演:海外開発動向」として、日産自動車(株)先端材料研究所 主任研究員の大間敦史様より「FC R&D に関する DOE-AMR の研究動向と考察(FCCJ 活動報告)」、清華大学自動車工学専攻 教授の張剣波先生より「中国 FCV 開発動向」についてご講演頂きました。

第二部では「FC-Cubic 研究成果紹介」として、我々が進めています NEDO 事業の成果をポスター形式に紹介しました。冒頭研究所長の篠原から NEDO プロジェクトの概要説明の後、コーヒープレイクを取りながら、サブテーマを担当する研究機関毎のポスターの前でそれぞれの取組内容と成果を紹介し、ご参加いただいた方との意見交換・技術交流を行いました。

並行して組合員企業のスズキ株式会社から FC 二輪車「バーグマン フューエルセル」の展示を行いました。実際の試乗は無かったものの、実機を直接触れることが出来、説明担当の方に興味深く色々と質問されていました。

第三部は「組合企業からの情報発信(今後の展望・課題)」として、トヨタ自動車株式会社 FC 技術・開発部 主査の鈴木稔幸様より「水素社会の実現に向けた取組と燃料電池自動車の現状と展望」、株式会社本田技術研究所 四輪 R&D センター 上席研究員の齊藤信広様より「ホンダの燃料電池開発 ー寿命予測と品質保証ー」、パナソニック(株) アプライアンス社 課長の河村典彦様より「純水素燃料電池の開発状況と今後の展望について」、それぞれが取り組んでいる内容についての紹介がありました。

第6回の技術交流会を閉会した後に、場所をタイム24ビルの 11 階のシーガルに移動し懇親会を行い、産学官の研究者の交流、意見交換の場として大いに盛り上がりました。

今回は技術交流会に過去最高の 189 名、同じく懇親会も過去最高の 129 名の方がご参加されました。年末のお忙しい中、多くの方にご参加いただき、深く御礼申し上げます。皆様のお陰で技術交流会を盛大に終えることが出来ました。本当にありがとうございました。

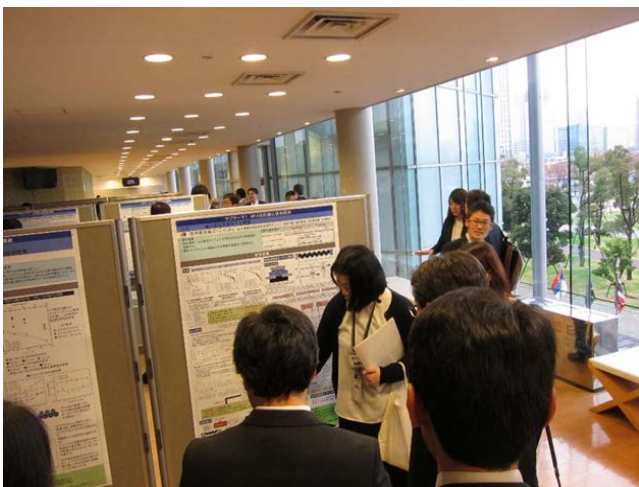
来年以降も皆様方に有益な情報をお伝えし、皆様が技術交流の場、意見交換の場としてご活用していただけるように進めていきたいと考えております。ご指導ご鞭撻をいただくと共に、引き続きのご参加、ご協力をお願い申し上げます。



講演会会場



来賓ご挨拶



ポスター会場



ポスター会場



FC 二輪車「バークマン フューエルセル」



懇親会